

[ホンダ]ミリ波レーダの調整（エイミング）（例：N-BOX JF3）

- 注意：**
- ・ミリ波レーダの脱着および交換、ミリ波レーダ調整（エイミング）が必要な故障コードがメモリされた場合はこの作業を行って下さい。
 - ・この作業はホンダ専用工具 070AJ-SDA0101（レーダエーマセット）と 070AJ-T6A0100（アングルゲージ）を使用します。
 - ・極力作業は十分な明度が確保出来る室内で行って下さい。
 - ・ミリ波レーダ調整(エイミング)を正常に行う為に車両前方 10m、幅 5m、高さ 3m の空間が確保でき、尚且つ水準器等で測定し 1°以上の勾配が無い平坦な場所で行って下さい。

- 参考：**
- ・作業前にミリ波レーダが正しく取付けられている事を確認して下さい。
 - ・ミリ波レーダユニット表面に汚れや異物が付着している場合は、清掃・除去して下さい。
 - ・タイヤの空気圧を規定圧に調整して下さい。
 - ・調整中は車両に振動を与えたり乗降を行わないで下さい。
 - ・調整中は車両のマルチインフォメーションディスプレイに工程に応じて様々な表示がされますが、表示内容および詳細に関してはサービスマニュアルを参照して下さい。
 - ・調整が必要な場合、3.5mm ヘックソケットドライバ等を使用します。

手順/操作

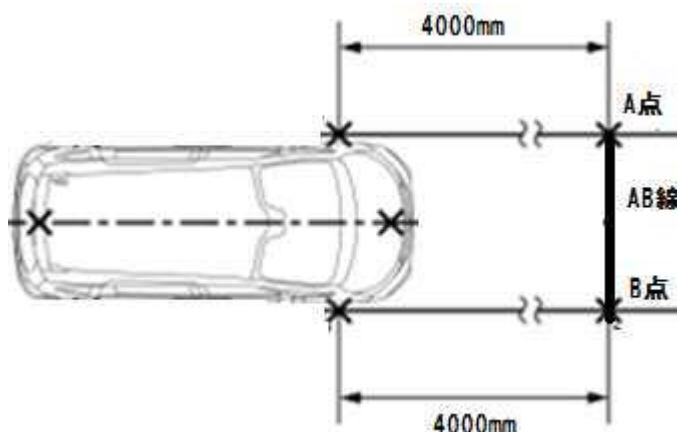
● ミリ波レーダ調整（エイミング） ※一部イラストは整備書より引用しております

上記「注意」の通り、水準器等を使用し 1°以上の勾配が無い場所である事を必ず確認して下さい。後述に記載がありますが調整誤差範囲が $\pm 0.1^\circ$ と大変厳しく設定されています。調整場所の選定はそれを踏まえた上で十分に注意して行って下さい。

車両前端および車両後端のエンブレムの中心を通る様に糸（重り付）を床面に垂直に垂らし接地点をマーキングして下さい。

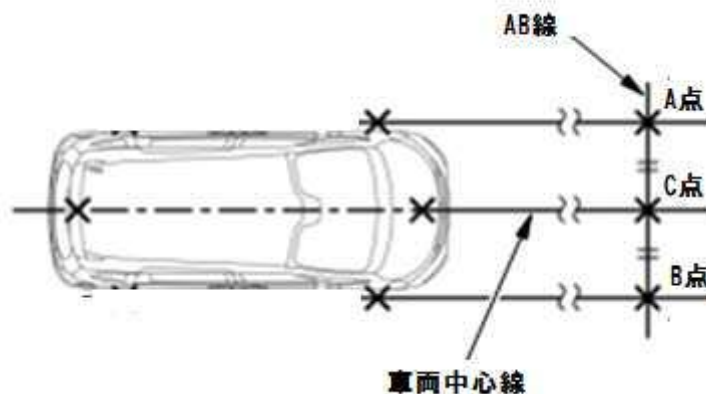
さらにフロントホイール中心を通る様に糸（重り付）を床面に垂直に垂らし接地点をマーキングし、そこから車両前方 4000mm の位置に左右ともマーキングして下さい。助手席側を A 点、運転席側を B 点とし、この A 点と B 点を結ぶ線を AB 線とします。

1.



2.

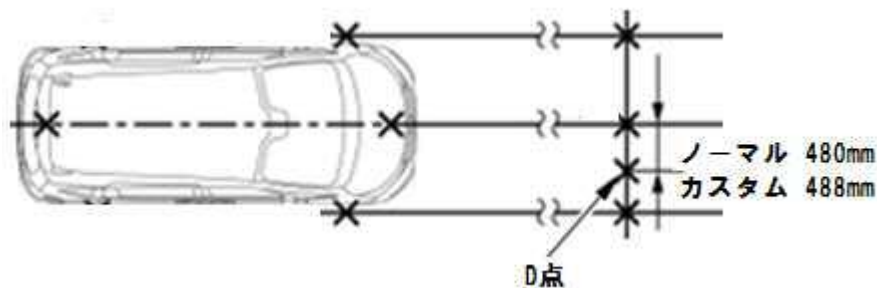
手順 1 でマーキングした車両前端と後端、この 2 点を通る線を車両中心線とし
この中心線と AB 線が垂直に交わる位置にマーキングして下さい。ここを C 点とします。



3.

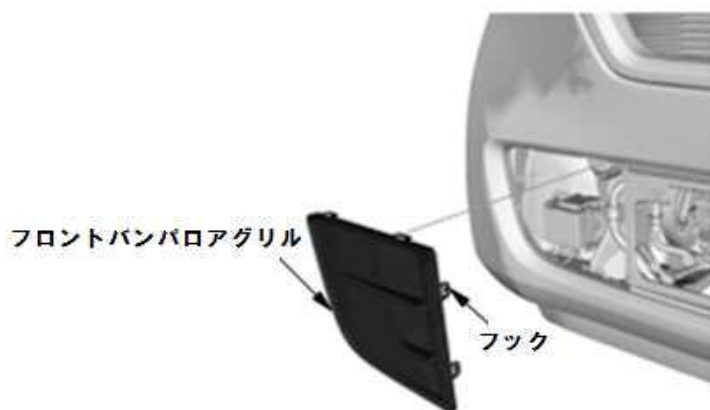
C 点を起点に運転席側にスライドした位置にマーキングして下さい。そこを D 点とします。
スライドさせる距離はグレードによって異なりますので、下記を参考にマーキングして下さい。

ノーマル : 480mm カスタム : 488mm



4.

ナンバープレートを取り外し、バンパ内部に手を入れフックを解除しフロントバンパロアグリル
を取り外して下さい。ミリ波レーダユニットが露出します。



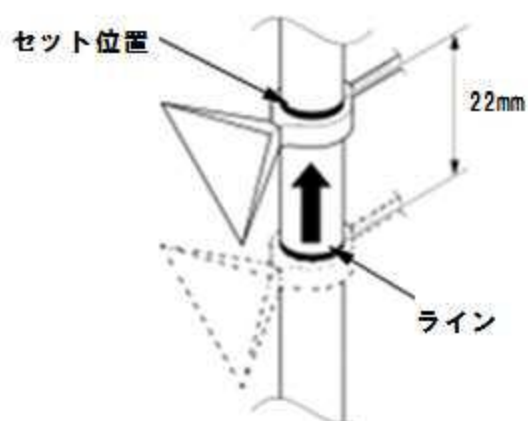
組み立てたレーダエーマセットの矢印部をミリ波レーダユニットの下端に合わせて下さい。
その高さが基準となる為、目印となるラインを引いて下さい。



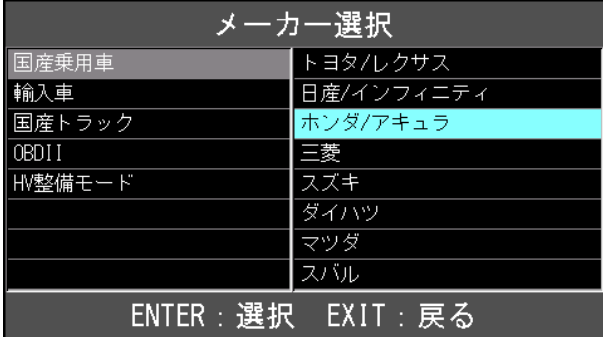

5.



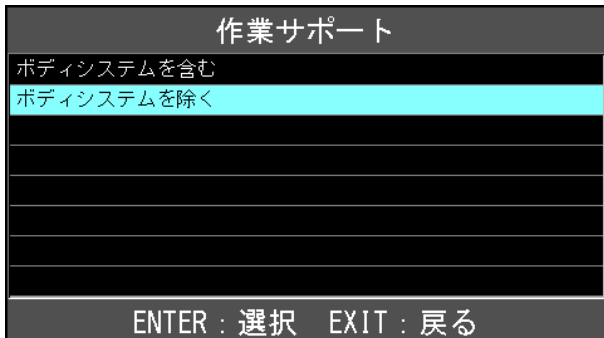
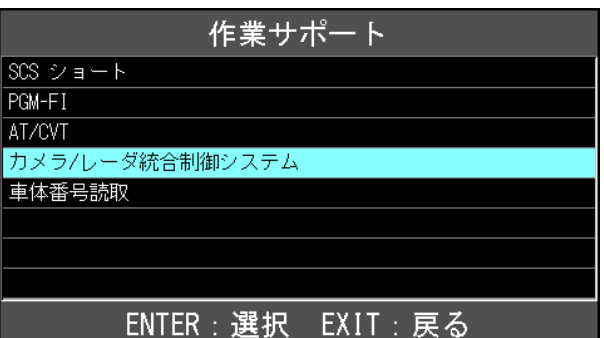


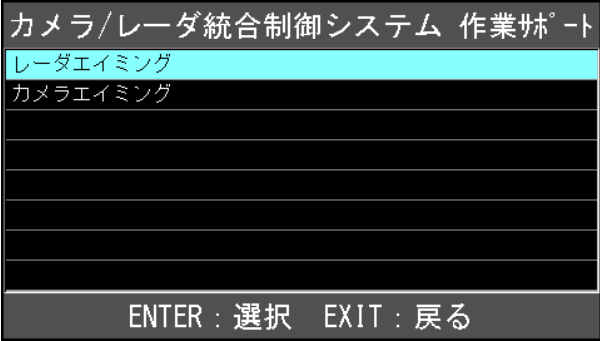
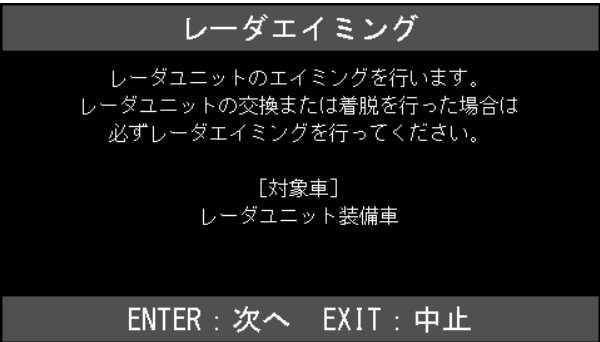
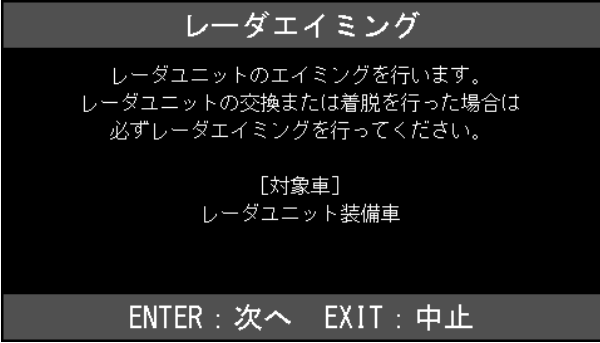
手順5で目印を付けたレーダエーマセットのラインから22mm 上部へ持ち上げ
セット位置に固定して下さい。

6.



<p>4.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、MTG2000-S を車両に接続して下さい。</p>	
<p>5.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p>	
<p>6.</p>	<p>『メーカー選択』から[ホンダ/アキュラ]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>7.</p>	<p>『エンジンタイプ選択』から[その他]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>8.</p>	<p>表示されている車体番号に間違いが無い事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>9.</p>	<p>『ホンダメインメニュー』から[作業サポート]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>10.</p>	<p>『作業サポート』から[ボディシステムを含む]と[ボディシステムを除く]の2項目がありますが、今回の作業ではどちらを選択しても影響ありませんので[ボディシステムを除く]を選択し[ENTER]を押して作業を進めていきます。</p>	
<p>11.</p>	<p>『作業サポート』から[カメラ/レーダ統合制御システム]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>12.</p>	<p>『カメラ/レーダ統合制御システム作業サポート』から[レーダエイミング]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>13.</p>	<p>レーダユニットのエイミングを行います。 レーダユニットの交換または着脱を行った場合は必ずレーダエイミングを行ってください。</p> <p>[対象車] レーダユニット装備車</p> <p>内容を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>14.</p>	<p>レーダユニットのエイミングを行います。 レーダユニットの交換または着脱を行った場合は必ずレーダエイミングを行ってください。</p> <p>[対象車] レーダユニット装備車</p> <p>内容を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	

15.

条件と手順はサービスマニュアルを参照して下さい。

エイミング手順に従って車両を水平な場所に停車して下さい。まだエイミングターゲットは設置しないでください。準備ができたなら「実行」を押して下さい。

条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。

特にターゲットが車両前方に無い様にして下さい。

レーダエイミング

条件と手順はサービスマニュアルを参照してください。

エイミング手順に従って車両を水平な場所に停車してください。まだエイミングターゲットは設置しないでください。準備ができたなら「実行」を押してください。

ENTER : 実行 EXIT : 中止

16.

サービスマニュアルを参照してエイミングターゲットを設置してください。

ターゲットを設置したら「実行」を押してください。

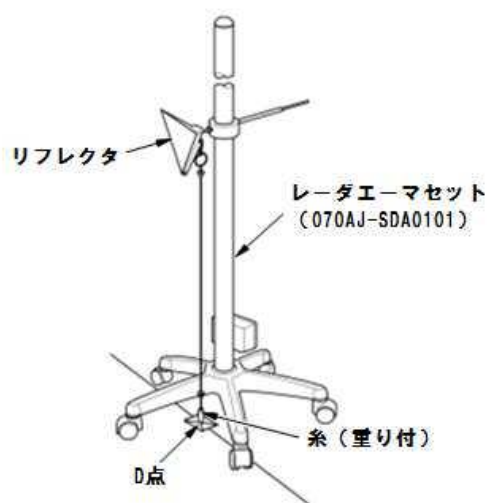
手順3でマーキングしたD点直上にターゲットのリフレクタ面を車両に向け設置し[ENTER]を押して下さい。

レーダエイミング

サービスマニュアルを参照してエイミングターゲットを設置してください。

ターゲットを設置したら「実行」を押してください。

ENTER : 実行



17.

レーダユニットの現在の値が表示されます。
基準値内に収まっていない場合は
3.5mm ヘックスソケットドライバ等で
上下または左右の調整ボルトを回し
微調整を行って下さい。調整中は値がリアル
タイムで変化して行きます。

基準値 (上下左右) : 0 ± 0.1

基準値内に値が安定したら[ENTER]を押して
下さい。

ズレ角度の値が大きすぎる場合、ボルトの
調整だけでは基準値に収める事が出来ません
ので、車両の移動やターゲットの配置など
初めからやり直して下さい。

18.

レーダエイミングは完了しました。

内容を確認して[ENTER]を押して下さい。

レーダエイミング

レーダユニットの取り付け位置を調整してください。
上下方向のズレ角度: 0.19°
左右方向のズレ角度: 0.14°
注: $-0.1^\circ \sim +0.1^\circ$ 範囲内

調整が完了したら「実行」を押してください。

ENTER : 実行



カメラエイミング

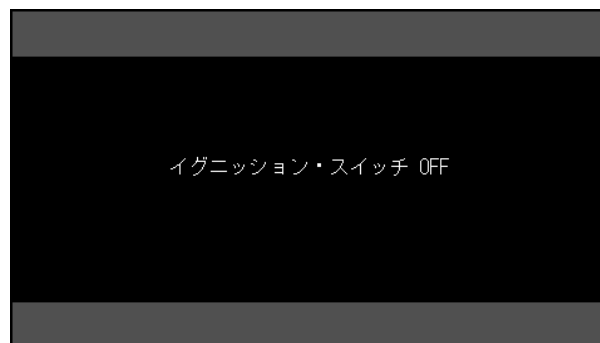
レーダエイミングは完了しました。

ENTER/EXIT : 終了

イグニッションを OFF にして下さい。

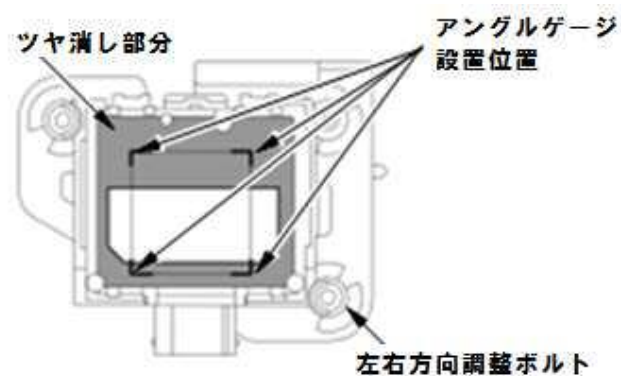
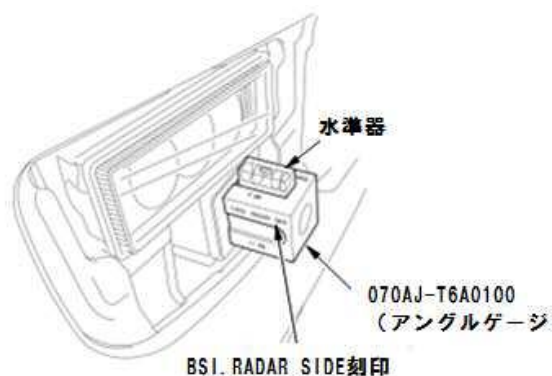
表示が切替ったらイグニッションを ON にして下さい。

- 19.** [EXIT]を数回押し『ホンダメインメニュー』まで画面を戻し、再度イグニッションを OFF にしてから安全に MTG2000-S を取り外して下さい。



水準器をアングルゲージ 0°面の溝に沿って置き、レーダーユニットの下記位置に当て水準器の気泡が中央に来る事を確認して下さい。調整が必要な場合は上下方向調整ボルトで調整し、左右方向調整ボルトは回さないで下さい

- 20.**



手順 4 と逆の手順でフロントバンパロアグリルをバンパーに装着し、フックを嵌合させナンバープレートを取り付けて下さい。

以上で作業完了となります。

21.

